

2011年4月

ナルク交野拠点「いわふねクラブ」
会 員 各 位

ナルク交野拠点 代表 戸田十九一

省エネ・節電に協力しよう

未曾有の東日本大地震は、地震・津波・放射能の三重苦を伴い、住民の皆様方は言葉に尽くされぬ大被害に見舞われております。

その方々に対して私たちができる協力・支援の一つとして、省エネ・節電に各人が心して取り組みましょう。

節電の目的は大きく二つに分かれます。一つはピーク時の抑制です。東日本では多くの原子力発電所や火力発電所が止まったため全発電力(Kw)の30%が落ち込み、電力需給逼迫時などに対応することができず、全停電の恐れを防ぐための節電です。東京電力、東北電力における計画停電・プロ野球におけるナイターの中止などがこれにあたり、電力(Kw)不足に対する対策です。

もう一つは消費電力量(Kwh)の不足に対する対策です。東日本で著しく不足している燃料は石油(重油、軽油、灯油、ガソリン)とガス(液化天然ガス、石油ガス、都市ガス)です。全国での発電の60%は火力発電所で、これらの石油とガスが原料です。

節電によって電力量(Kwh)を減らし、マイカー自粛、節ガスも含め余裕のできた燃料を東日本に送ることが大切なのです。

以下に、具体的な方法を記します。

① **冷蔵庫**(電力は小さいですが、24時間稼働していますので電力量は家庭電力量の60~70%を占めます。)冷蔵庫内温度を「強」から「中」に、一人暮らしは「弱」に落とします。これにより10%の節電ができます。

(イ) 沢山の詰め込みをやめ、冷蔵庫内の還流を良くします。冷蔵の必要がない缶詰、瓶詰は別に保管します。熱いものは外で冷ましてから冷蔵庫に入れます。これで20~30%は節電できます。(賞味期限、消費期限切れの食品を出さなくなり、食品の節約にもなります。)

② **エアコン**(電力は、電熱器具と共に家庭内では40~50%を占めます。)

(イ) 夏は28度、冬は20度が省エネ温度です。1度の温度を変えることで10%の節電になります。

(ロ) スイッチのON-OFFは、長時間(30分以上)使わないとき以外は止めましょう。エアコンの起動電力は、使用電力よりも大きいのです。

(裏面に続く)

③ 照 明

- (イ) 心がけてつけたり消したり、そして要らないときは必ず消しましょう。
(トイレに行くときには部屋の電気は消す。昔は頻繁につけたり消したりすると、器具の消耗が強まり電気代より器具の買い替えの方が高くてつくと言われておりましたが、今は器具が改良されそのようなことはありません。)
- (ロ) 白熱電球をできるだけ蛍光灯やLED電球に替えましょう。14～24%節電できます。(100Wの白熱電球の明るさと40Wの蛍光灯の明るさはほぼ同じです。)
- (ハ) 全体照明の照度を落とし部分照明を使いましょう。(居間はスタンド、玄関、階段、洗面所、トイレ、風呂場など。)

④ 待機電力を止める。6%の節電になります。

- (イ) コンセントからプラグを抜く。(電気安全にもなります。)
テレビ、エアコン、パソコン、温水ガス器具など
- (ロ) 温水便座便器に蓋をする。電気ポットは24時間入れっぱなしにせず、必要時にスイッチONにする。

⑤ その他の省エネ

- (イ) マイカー、バイクなどは特に緊急な時以外は使用しないで電車やバス、自転車を利用する。
- (ロ) 電気ストーブ、石油ストーブ、ガスストーブは部屋が暖まったらこまめに消す。
- (ハ) 電気毛布、電気膝掛け、電気カーペットはできるだけ使わないようにする。

以上ですが、あとはご自分で生活を見直してお考えください。見ていないテレビのつけっぱなしなど、意外と無駄なエネルギーを知らず知らずに消費しているものです。

以 上